

# 高松×高松から外に出た人

## (課題)

高松に帰ってきたくなるようなインパクトが無い。祭りとか

## (お題)

高松から外に出た人に高松のことを思い出して、気づいて帰ってきてほしい。

## (キャッチコピー)

- ①あ、あのうどんが食べたい。
- ②あん餅雑煮って香川だけだったんだ。
- ③獅子舞、今でも踊ってるかな。

(名前：熊野 雄太)

# 高松×魅力

## (課題)

「高松には何もない」と子どもに吹き込む大人が多い

## (お題)

高松には何もないからと思っている親世代に地元の魅力を認識してもらう

## (キャッチコピー)

- ①あると思えばあるのが魅力
- ②とりあえず高松のいいところ10個言ってみて
- ③あなたが気づけばそれが魅力
- ④街の魅力は言ったもん勝ち（高松のいいところ言ってみて）

(名前：中村 かおり)

# 高松×温泉

## (課題)

長期滞在・リピート

## (お題)

うどん以外の来訪・滞在の理由付け

## (キャッチコピー)

- ①さぬきで息ぬき
- ②高松でホッと(HOT)一息。
- ③うどんと温泉の二刀流

(名前：二川 大地)

# 高松×観光

## (課題)

「高松」イコール「海街」であることが認知されていない

## (お題)

都会で働くミレニアル世代(1980年~1995年生まれ)の旅行の目的地として認知してもらう

## (キャッチコピー)

- ①うどん県にはアイランドホッピングの聖地がある
- ②毎日がマジックアワー
- ③高松にはバーチャル背景がある
- ④尾道 VS 高松

(名前：穴吹 英太郎)

# 高松×外国人活動応援

## (課題)

高松市で活躍するたくさんの外国の人にもっとスポットあてて、その人たちの意見を市に反映させたい。

## (お題)

高松に住む外国人が高松の魅力を発信したくなるようなキャッチコピー。

## (キャッチコピー)

- ①なにしょん！？ in Takamatsu
- ② My dream city 高松
- ③ Easy going city 高松
- ④ Youは何しに高松へ

(名前：大石 麻未)

# 高松×文化芸術

## (課題)

- ・ 様々なアイデアがあるが、非営利で行うため、助成の赤字はアーティストによっては難しく、活動しはじめの団体にとっても資金集めは非常に難しい。職業として成り立ちにくい。
- ・ 気付きが沢山ある舞台があるが、集客が難しい。
- ・ 様々なアーティストがいるが、子どもがいるアーティストたちが活動しにくい。

## (お題)

文化芸術に興味のない人が作品を見にくるようなキャッチコピー

## (キャッチコピー)

- ① 休みかた、教えます
- ② 五感を癒す、高松の街
- ③ 生きるヒントを見つけよう

(名前：三木 優希)

# 高松×10年後

## (課題)

10年後の高松市のあるべきゴールを定めた上で今から始められることを考えなければならない。

## (お題)

観光や遊びから始まって、いつの間にか住みたくなっているようなキャッチコピー

## (キャッチコピー)

- ①『誰かの』じゃなく『自分の』好きが見つかる町。
- ②ただ海を見つめて、振り返れば山がある。少し歩けば街がある。
- ③高松の上にも三年。

(名前：棟近 壮一郎)

# 高松×日常

## (課題)

高松は「遠い」「不便」というイメージがある。

## (お題)

東京の人に高松はコンビニの様に身近な場所で日帰りでも遊びに来れると思ってもらえるようなキャッチコピー

## (キャッチコピー)

- ①行こうかなと思ったらもう高松
- ②手のひらサイズで暮らせるマチ高松
- ③小さいマチだけど、大きなチャレンジができるマチ高松

(名前：若林 友美)



# 高松×若者

## (課題)

進学を機に高松を出た若者（10代後半～20代前半）が高松で就職しない。

## (お題)

進学を機に高松を出た若者が高松の会社に就職したくなるキャッチコピー

## (キャッチコピー)

- ① 「故郷に帰ったら挑戦は終わり。は嘘だった。」働くなら高松で。
- ② 「瀬戸内サニーのような働き方をする会社で。」働くなら高松で
- ③ 「攻めるなら東京や大阪って誰が決めた？」働くなら高松で。

(名前：大崎 龍史)

# 高松×子育て情報

## (課題)

- ・ 出産に際し、配られている媒体等の子育て情報だけでは身近な子育て情報を簡単につかみにくい
- ・ これを見ればだいたい分かる、というハッシュタグ等がない

## (お題)

高松市の子育て家庭の保護者がいいなと思っている情報を自ら発信し周りにシェアできるようなキャッチコピー

## (キャッチコピー)

- ① #高松子育て 発信せないくもんな！
- ② いいね！は、親子Deシェアパッピー
- ③ 親子で楽しい、おすそわけしようよ
- ④ #高松ママとつながりたい
- ⑤ #高松親子とつながりたい
- ⑥ #高松親子で楽しみたい

(名前：中村 香菜子)

# 高松×若者

## (課題)

若者が楽しめる、働ける場所が少ない

## (お題)

飲食店(食堂)を高松に出店したくなるキャッチコピー

## (キャッチコピー)

- ①高松のオカンになろう 食堂が必要なんです
- ②アツイ人に食べて欲しい アツイあなたを待っている
- ③明日も頑張ろう。って思える場所。 を作ってる人になろう。

(名前：西森 友紀)

# 高松×都会

## (課題)

- ・旅行するにも、移住するにも、魅力がまだまだ伝わっていない。
- ・岡山よりも利便性に欠けることも、四国ではそこそこ都市であることも、ネガティブではなくポジティブな要素としてイメージを着けたい。

## (お題)

都心やその他県外から見た、高松市の魅力。

## (キャッチコピー)

- ①ほんのちょっと海外。
- ②高まる、暮らし。(高松市)
- ③ One for Shikoku.
- ④もうひと足、がいい。
- ⑤もうひと足、がたのしい。

(名前：林 憲太郎)

# 高松×飲食店

## 高松×自動車運転

### (課題)

商店街を通じて飲み歩き出来る環境があるけど賑わいに足りないところ。  
交通事故が非常に多いこと。

### (お題)

高松の单身さんが仕事終わりでちょい飲みしたくなるキャッチコピー  
便利な自動車を安全に活用するためのキャッチコピー

### (キャッチコピー)

- ①みんな まるっと たかまつ家族
- ②「乾杯」からはじまる家族のカタチ
- ③愛をつなぐ 高松ドライブライセンス

(名前：松井 佑有)

# 高松×Uターン

## (課題)

- ・進学や就職による人口流出
- ・県外に出たら帰ってこない

## (お題)

コロナ禍で大学や仕事に疲れた20代が地元に戻ってきても「負け」と思わない

## (キャッチコピー)

- ①便利よりも安心
- ②海、山、島ある贅沢な暮らし
- ③働くまちから、住むまちへ
- ④これからは、高松くらいが丁度いい
- ⑤高松らしさ言えるかな？

(名前：宮武 将大)

# 高松×酒

## (課題)

- ・高松は都会に比べて個人経営のお店が多く面白い。
- ・その高松の良さがなかなか知られていない。

## (お題)

市内外のひとに「高松の夜のお店が多様で面白い」ことを知ってもらいたい。

## (キャッチコピー)

- ①高松の夜は、2階がオモシロイ。
- ②チェーン店<酒場 高松。
- ③犬も歩けば、酒場に当たる。
- ④酒に代わって、お仕置きよ。高松。
- ⑤May the 酒場 be with you
- ⑥高酒松場 (たかまつのさかば)

(名前：湯川 致光)

①高松×温泉  
②高松×島時間  
③高松×港

**(課題)**

①観光客が減少している、市街地から行くのが不便でアクセスが悪い、若い世代の来客が少ない、冬は雪が積もることがある

②瀬戸芸期間以外の島への来場者が少ない、海などの観光資源・宿泊施設があるに活用しきれていない、島は不便・遠いという意識がある、島の人口減少・高齢化（ゆくゆくは移住にもつなげたい）

③高松港周辺に楽しめる場所が少ない、四国の玄関口（賑わいを見せていた高松）を知らない世代が増えてきた

**(お題)**

①仕事に疲れた癒しを求める会社員が塩江温泉に行きたくなるキャッチコピー

②テレワーク推進企業で働く会社員へ島ワーケーションをおすすめするキャッチコピー

③市内外の若者に新施設ができて賑やかになる予定の高松港周辺をアピールするキャッチコピー

**(キャッチコピー)**

①ノスタルジックな温泉あふれる「ほっ」とシティ高松

② 20分で行けるリゾートで過ごす上質な平日

③ Reborn四国の玄関口

(名前：佐々木 恵理子)



# 高松×住んでみる

## (課題)

- ・高松で「住む・働く」と積極的に検討されにくいこと。
- ・高松で多様な働き方が展開されていることに気付いてほしい。

## (お題)

高松に住むことを「イメージ」させるキャッチコピー

## (キャッチコピー)

- ①働き方の可能性が広がるまち
- ②一人一人の過ごし方が自由に確立できるまち
- ③昔と今が共存できるまち

(名前：上原 大生)

# 高松×ごじまん品

## (課題)

高松で、ごじまん品等の高松産の農作物等を、より消費させたい。

## (お題)

野菜をついつい冷蔵庫でダメにしてしまう主婦が、高松産の野菜を買いたくなる  
キャッチコピー

## (キャッチコピー)

- ①高松の野菜は持ちますぜ、奥さん
- ②冷蔵庫に置いて分かる、高松の野菜の違い
- ③高松の野菜で一番新鮮なのは、高松産のお野菜

(名前：四宮 誠一)

# 高松×香川漆器

## (課題)

- ・漆器の良さが伝わっていない。
- ・家にあっても使われない。
- ・売れない。

## (お題)

香川在住のお母さんが漆器を出して使ってみたくなるキャッチコピー

## (キャッチコピー)

- ①この可愛いお皿、カガワシッキって言うらしいよ！香川のなん？
- ②お母さん、家に「漆器」ってある？学校の宿題でさ、、、
- ③軽いし、熱くなりにくいし、直しながらも一生使える器ってなーんだ

(名前：齊藤 恭宏)

# 高松×農業

## (課題)

高松市自体が家庭菜園のような都市型農業が可能な都市なのに、まだまだ若年層へ認知されていない

## (お題)

- ・ "農業"が学生達の就職したい職業No.1になるようなキャッチコピー
- ・ 自分の生活ライフに"農業"を取り入れたくなるようなキャッチコピー

## (キャッチコピー)

- ①農業45切符、高松行き。
- ②そのあんた。わし、高松で農業しとんやけど、継いでや、もう動けんのや。
- ③高松で農業始めた人が言ってたよ、今、幸せだって。

(名前：三好 和博)

# 高松×温泉

## (課題)

高松には、全国的に見ても好立地（空港から車で約15分）かつ、自然豊かな素晴らしい温泉郷が存在するが、あまり認知されていない。

## (お題)

温泉マニアが塩江を訪れたくなるようなキャッチコピー

## (キャッチコピー)

- ①高松には温泉も、ある
- ②空に近い温泉郷
- ③高松の体温を感じてみませんか

(名前：平岡 欣也)

# 高松×大人の遊び場

## (課題)

高松は海や山など自然もあるし、オシャレなランチやカフェなど食も楽しめるし、大型ショッピングセンターや商店街などお買い物も楽しめるけれど、社会人になって友人と遊びに行こうとした時にどこに行けばいいのかが分からないと感じることが多い。

## (お題)

地元で働く20代女性が「地元こんな所があったんだ！」と休日に立ち寄りたくなるスポットのキャッチコピー

## (キャッチコピー)

- ①高松生まれ・高松育ちの方こそ立ち寄りたくなる！
- ②「高松にこんな所があったんだ！」を実感できる！
- ③「休日、どこ出かけよう…」って迷ったことない？

(名前：香西 奏恵)

# 高松×交通

## (課題)

市外在住であるが、高松へ行くときに車でないと不便だと感じるが、車でも街中は停車するところが有料ばかりだったり、狭かったりで不便だと感じる。

## (お題)

高松の交通は今度どのような形に発展させるべきか。

## (キャッチコピー)

- ①ちょうどいいまち 高松
- ②芸術と暮らす街 高松
- ③今も昔も 瀬戸内海の正面玄関

(名前：藪下 真司)